

日本維新の会の長崎くみでございます。

第 14 回定例会におきまして、質問の機会を頂きましたことを感謝申し上げます。

最後の発言議員となりました。

お疲れも、おありのことと存じますが、しばらくの間、ご清聴賜りますようお願い申し上げます。

(1) まず初めに、依存症対策についてお伺い致します。

世界保健機構(WHO)はオンラインゲームなどに没頭し、健康や日常生活に支障をきたす状態を「ゲーム障害」(ゲーム依存症)という疾患として位置付けました。

インターネットの利用は今や当然の日常になりました。このツールによって変化してきた私たちの生活の課題として、今回はネット依存・ゲーム障害について取り上げてまいります。依存症という病気については、病気という認識が薄く、ゲーム依存症は勉強や仕事といった生活面や、心や体の健康面などよりもインターネットの使用を優先してしまい、使う時間や方法を自分でコントロール出来ない状態を指します。

厚生労働省調査班の2017年度の調査結果ではネット依存の疑われる中学生・高校生は全国で約93万人。およそ7人に1人に疑いがある結果となっています。この全国調査は新型コロナウイルス感染症が流行する前に実施されていますが流行後は子供が自宅にこもってネットに向かう時間が増え依存へのリスクが高まり増加しているという指摘があります。

そこでお伺い致します。①教育委員会としてコロナ禍における児童生徒及び高校生への影響についての見解とその実態をどの様に把握されているのか、併せてお聞かせください。

(2)次に尼崎運河クルーズツアーについてお伺い致します。

2025年4月大阪・関西万博が開催されます。

兵庫県で展開される「ひょうごフィールドパビリオン」として「尼崎運河クルーズツアー」が

ひょうごごこく

兵庫五国の摂津地域における

プレミアム・プログラムとして選定されています。

(これは、各地域の風土・文化との親和性や事業の持続可能性の観点から地域の核と考えられるものが選定されます)

あまがさきこうもん

尼崎臨海地域を巡りながら尼崎運河や尼ロック(尼崎閘門)の施設などが身近に体感でき、魅力あるプログラムになっています。先日、私はこのクルーズを実施される方とお会いし、様々な話を伺ってきました。尼崎の海は高度経済成長期に工場や生活の排水が原因で汚染に悩まされた歴史がありますが、近年、水質は回復しイルカの回遊が見られるほどで、魚も豊富に釣れることから神戸や大阪からも釣り人が訪れる穴場スポットとして人気が高く、むしろ尼崎市民の方が尼崎の港で海でこんなに魚がとれることを知らないと思うと話されていました。

また、「フィッシュシェアリング」の活動で子ども食堂へ食材の提供や食育活動にも熱心に取り組んでおられます。

大阪・関西万博では多くの来訪者が訪れ、「尼崎運河クルーズツアー」も体験されると思います。

① そこでお伺い致します。万博の開催が終わった後でも本市が積極的に関わりながら「尼崎運河クルーズツアー」を通して豊かな海域の魅力をPRし、人を呼び込むコンテンツとして活用すべきと考えますが当局の見解をお聞かせください

(3)次に、尼崎 21 世紀の森構想についてお伺い致します。

尼崎 21 世紀の森構想は兵庫県の事業ではありますが、環境の世紀と言われる 21 世紀を迎え、先導的なまちづくりのモデルを尼崎から世界に発信していく構想で対象区域は尼崎市の国道 43 号線以南の約 1,000 ヘクタールを対象とし面積も広大で壮大な事業計画です。

タイムスケジュールは平成 14 年から概ね 50 年 100 年かけて取り組む一大プロジェクトでまちづくりのテーマは「森と水と人が共生する環境創造のまち」ということですが、将来インフラも人々が住む住環境も整備するという内容です。

事業自体は中長期的で先の長い計画(話)ですが尼崎臨海地域におけるまちづくりが個性と魅力、独自性を持った地域として発展できるよう期待しております。現在、この構想策定から既に 21 年が経過しています。対象区域の一部であります兵庫県立尼崎の森中央緑地では尼崎スポーツの森の各種施設におきましてプールやスケートリンクの利用、芝生広場での各種イベントなどにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で減少したとはいえ、令和3年度は年間 56 万人が訪れていています。集客力がありませんがこれからも尼崎 21 世紀の森構想を推進していく過程で魅力のあるまちづくりが着実に実現していくことを期待しています。

①そこでお伺い致します。現在、この構想を実現に向けて何か具体的な整備計画があるのでしょうか？今後の見通しについてお聞かせください。

(4)次に災害対策についてお伺い致します。

台風や大雨など、毎年、日本全国で大きな災害が発生しています。本市では災害に備えた各家庭での防災行動計画「マイタイムライン」や

避難時の避難行動計画に移るタイミング(逃げ時)、避難先、避難経路など記載した

「マイ避難カード」をあらかじめ作成することを推奨しています。作成方法について尼崎市防災ブックやYouTubeでの動画配信など行っていて、私も拝見しましたが分かりやすく丁寧に取り組まれていると感じました。

では、実際、市民への普及がどの程度進んでいるか気になるところですが現実的にはそれほど進んでいないのではないのでしょうか。横浜市が一昨年行った市民の防災・減災意識に関するアンケート調査によると「マイタイムライン」を知らないと答えた人は92.3%で9割を超えています。同様の調査をweb(ウェブ)マーケティングを専門的に行う日本トレンドリサーチも昨年、実施していますがこちらも91.6%の方が知らないと回答しています。国や各自治体が作成を推進していますが作成が低迷している主な要因は認知度の低さにあると言えます。①そこでお伺い致します。本市における「マイ避難カード」に関する市民の認知度についてどのように認識されているのか当局の見解をお聞かせください。

これで第一問目を終わります。

二問目からは一問一等答方式でお伺い致します。

一問目答弁

(二問目)

(1) ネット依存・ゲーム障害について専門医療機関での治療・相談を受けているのは未成年(中高生)が多く、低年齢化が加速しているのが現状です。ネットやゲームにはまる過程は、「快感」や「楽しさ」を得ることから始まりますが、そのうち日々の現実問題からおこる「苦痛」や「苦悩」の穴埋め手段と

こうどうしへき

して利用されます。その後、長時間その行動を行うことにより、行動嗜癖

(行動と関係の依存)が形成され、

結果、ゲーム中は夢中で楽しいが、それをやめると、現実の問題として、学校の勉強についていけない、明日の朝起きれないなどの不快を伴う現実問題に直面する。なので、またゲームをしたいとなります。

(1)①そこでお伺いします。低年齢化がすすむネット依存・ゲーム障害の現状についてまずは、両親や保護者に理解や対策について考える機会を持っていただくことが重要だと考えますが、この点についての認識をお聞かせください。

答弁

子どものネット・ゲーム依存ですが当事者が悩んでいても、いつどこに相談するのか、そのタイミングが分からないという事をよく聞きます。

依存症については、状態が深刻化する前に早めに相談することが大切です。福岡市のホームページには、インターネット依存・ゲーム障害についての説明やインターネット依存関するチェックリストの活用で依存度をチェックしています。

(1)②そこでお伺いします。本市でも、ホームページ等にチェックリストを掲載し、当事者の状態を確認していただくことが早期発見の第一歩だと考えますがご所見をお聞かせください。

答弁

(2)次に「尼崎運河クルーズツアー」についてですが、夜間のツアーについても検討していただきたいと考えます。昼間では見る事が出来ない独特の景色が楽しめると思います。また、尼崎市は工場夜景が有名です。民間のバスツアーはありますが、クルーズからの見学は聞いたことがありません。実際、工場の場所からどのように見えるか分からないのですが、他市の工場夜景クルーズは人気があります。

けいざいかんこうしんこうか

(2)①そこでお伺いいたします。本市でも、経済観光振興課が中心となって検討されたらいいと思いますが如何でしょうか？

答弁

あまがさきこうもん

現在、尼崎運河や尼ロック(尼崎閘門)など臨海地域での環境学習を市内小学3,4年生対象に実施しています。いろいろな実験や観察を行いながら、環境問題について考えることはとても重要な意義を有しています。

(2)②そこでお伺いします。この環境学習に「尼崎運河クルーズツアー」を追加することはできないでしょうか。尼崎で釣れた魚を美味しく食べたり、話を聞くことで子どもたちへの食育にもつながります。如何でしょうかお答えください。

答弁

(3)次に尼崎 21 世紀の森構想についてお伺い致します。(ここからは略して 21 森と表現いたします)

先程も申し上げましたが 21 森は県の事業です。

中長期的な事業ですが、今後、臨海部を中心としたまちづくりが実現していけば本市の魅力を伝えることで人の減少や産業の衰退など課題の解決につながるかも知れません。本市としても強い関心を持って注視すべきだと思います。

(3)①そこで松本市長にお伺い致します。

尼崎市民の代表として 21 森に対する期待や要望などについて率直なご意見をお聞かせください。

答弁

本市は毎年、兵庫県政に対して要望書を提出しています。令和 4 年では大阪・関西万博を契機とした誘客等に係る・連携並びに

なんぶりんかいちいき

南部臨海地域の駐車対策など 5 項目要望しています

(3)②そこでお伺いします。21 森についてはこれまで要望されたことはない
と認識しております。

県の事業とは言え、市政運営にも関わることから、積極的な推進について
要望すべきと考えますが見解をお聞かせください。

答弁

大阪府・大阪市では 2029 年を目途に IR の開業を目指しています。

ゆめしま

場所は人工島・夢洲にできますが 2025 年大阪・関西万博会場にもなっ

ゆめしま

まいしま

まいしま

ています。夢洲の隣が舞洲でこの舞洲から尼崎まで海上で結ぶとわず

か 2km 弱しか距離がありません。

IR 施設は 2024 年の推計値ですが、国内外で約 1,300 万人程度集客が見込まれます。

(3)③そこでお伺いします。今後、21 森の整備を進める上で集客スポットとしての拠点を持てば人の流れを呼び込むきっかけになります。IR 事業の展開と 21 森の関連でどのような影響と可能性があるか当局の見解をお聞かせください。

答弁

(4)災害時の「マイ避難カード」についてお伺い致します。

作成することで命を守る行動を適切に判断できる効果が期待できますが、実際に私も家族と共に作成してみました。作成する為に6種類のハザードマップをじっくり見るだけでも、災害時への意識が変わります。

しかし、作成した方は令和4年度の施策評価によりますと実績値1%とかなり低いです。令和9年度100%を目標にしているわけですから

(4)①今後目標達成に向けてどのように取り組まれるのかお聞かせください。

答弁

これまで地域での防災訓練や市政出前講座等で普及啓発されていますが、

(4)②学校に出向き子ども向けの出前講座を開けば、作成の浸透を図ると共に防災に対する意識も向上します。学校での開催について見解をお聞かせください。

答弁

以上で私のすべての質問を終わります。

ご静聴ありがとうございました。